

WLQ-Jの開発：信頼性・妥当性の基礎的検討

— 第84回日本産業衛生学会で発表 —

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス（社長 今井達也 以下「SJHS」）は、Work Limitations Questionnaire 日本語版（以下「WLQ-J」）（※1）を開発し、信頼性と妥当性を検討しました。この研究（以下「本研究」）結果について、2011年5月18日（水）に東京で開催された第84回日本産業衛生学会の「ストレス・メンタルヘルスの測定」においてヘルスケア研究所長井田浩正が発表いたしました。

SJHSでは、2011年1月より体調不良による業務生産性低下率測定プログラム「mimoza WLQ-J」を販売しております。

1. はじめに

米国の調査では、従業員の健康問題が業務生産性に与える影響は欠勤・休職による「アブゼンティーイズム」よりも、従業員が体調不良のまま出勤している場合の生産性低下である「プレゼンティーイズム」の方がはるかに大きいと報告されています（図1）。

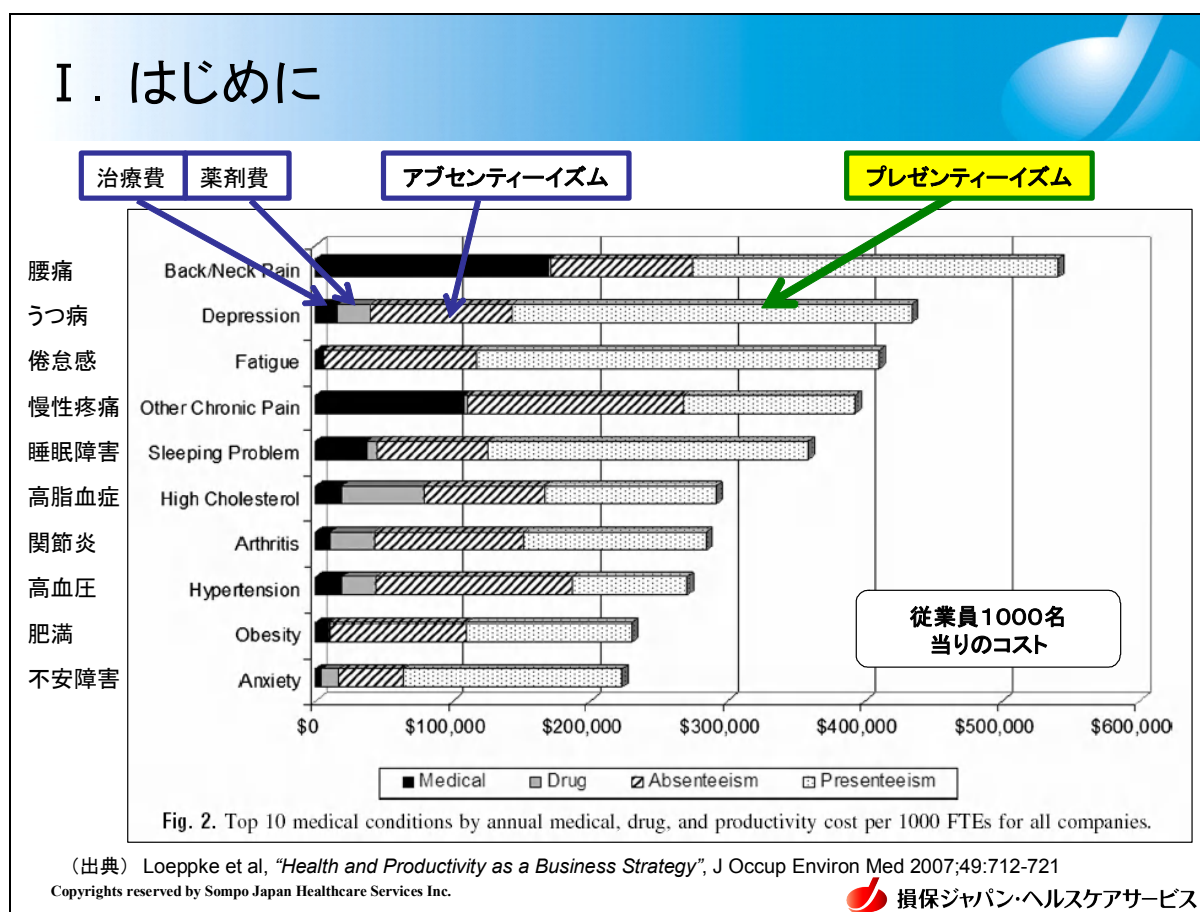


図1. 主要10疾患の年間コスト（従業員1000名あたり）

しかし、日本ではプレゼンティーズムを測定できる質問票は少なく、その影響を評価することは困難です。米国タフツ大学のラーナー博士らが開発した Work Limitations Questionnaire (WLQ) はプレゼンティーズムによる労働遂行能力低下率を測定できる質問票で、「時間管理」、「身体活動」、「集中力・対人関係」、「仕事の結果」(※2) の4下位尺度、計25問の質問項目で構成されています。本研究で当社(※3)は、WLQ日本語版(WLQ-J)を開発し、信頼性・妥当性を検討しました。

2. 対象と方法

WLQ-Jは原著者の承諾を得て、所定の手順(順翻訳、逆翻訳、原著者による等価性の確認)で開発し、疫学倫理審査委員会の承認を得て、職業人(IT企業・医療機関勤務の21-61歳の男女1,545人)を対象にインターネット調査(WLQ-J、職業性ストレス簡易調査)を実施しました。

3. 結果

解析対象者は710名(33.2±9.5歳、女性割合60.3%)でした。因子分析の結果、構成概念妥当性が支持されました。クロンバックの α 係数は尺度全体0.97、下位尺度0.88—0.95で内的一貫性が認められました。ストレス反応を外的基準として、WLQ-J下位尺度との相関を検討した結果、相関係数は0.39—0.60でした($p < 0.01$)。また、ストレス反応とWLQ-Jの下位尺度得点に量反応関係が確認され($p < 0.001$)、WLQ-Jの基準関連妥当性が支持されました(図2)。

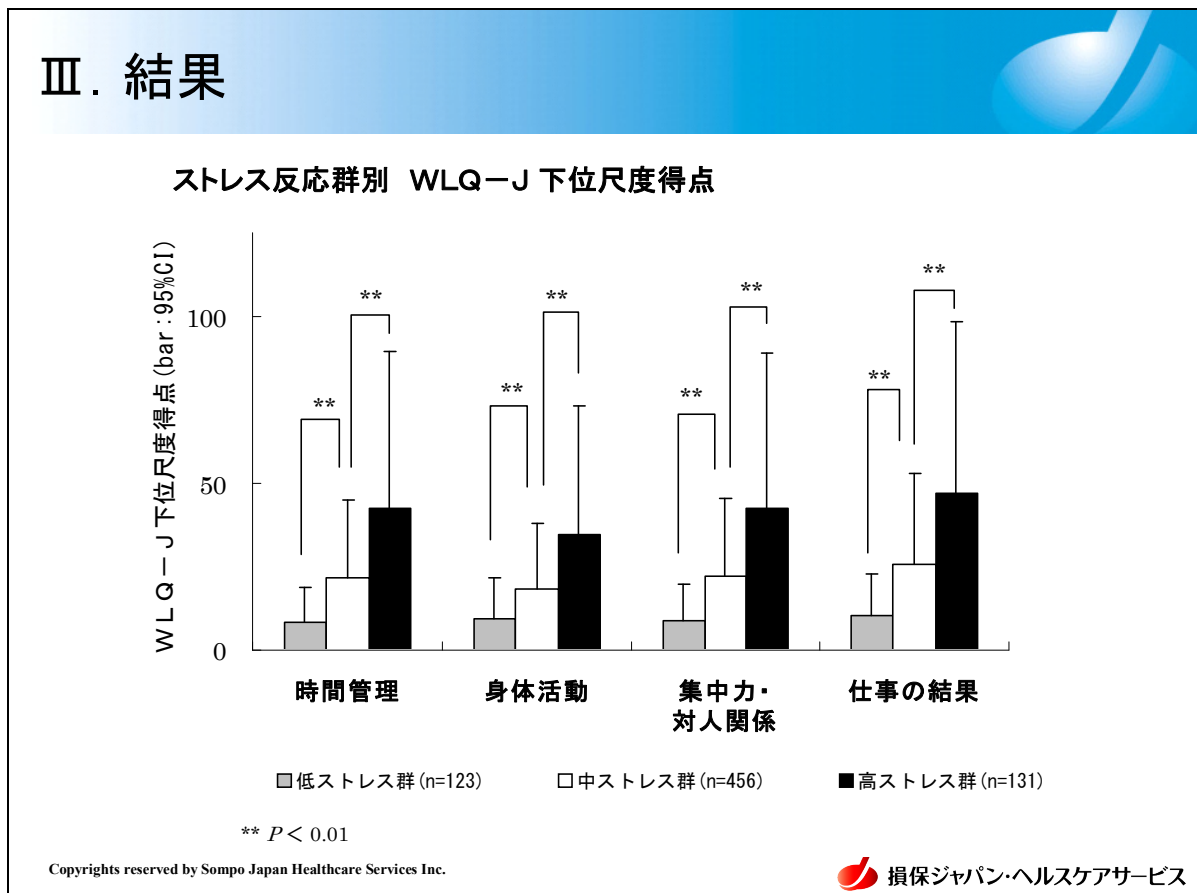


図2. ストレス反応群別WLQ-J下位尺度得点

4. おわりに

本研究の結果、WLQ-Jの信頼性・妥当性が確認されました。WLQ-Jは、従業員の健康問題による業務生産性低下率を数値で把握でき、下位尺度ごとの業務生産性低下レベルを把握できる質問票です。WLQ-Jは、多様な産業や企業分野で、経営、人事部門、ライン組織、産業保健部門などの施策を推進するうえで、評価指標として効果検証に活用できると考えられます。今後は、WLQ-Jの職域での活用を促進し、検討を深めることが課題です。

以上

- ※1 WLQ-JはWLQの日本語版です。(日本語版作成：株式会社損害保険ジャパン)
Work Limitations Questionnaire, ©1998, The Health Institute, Tufts Medical Center, Inc.;
Debra Lerner, Ph.D.; Benjamin Amick III, Ph.D.; and GlaxoWellcome, Inc. All Rights Reserved.
- ※2 「時間管理」は、勤務時間や始業時刻等の決められた時間の管理に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。「身体活動」は、業務に必要な動作や作業に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。「集中力・対人関係」の集中力とは、仕事への集中力に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。対人関係とはコミュニケーションに対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。「仕事の結果」は、予定や期待通りに仕事の結果を出すことにに対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。
- ※3 本研究は、聖徳大学児童学部 中川和美氏（S J H S チーフメディカルオフィサー）、名古屋大学医学部付属病院看護部 三浦昌子氏、株式会社損害保険ジャパン ヘルスケア事業開発部と共同で行いました。本発表の内容は、現在論文を執筆中です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス ヘルスケア研究所 井田 (TEL : 03-3349-9205)
株式会社損害保険ジャパン ヘルスケア事業開発部 石川 (TEL : 03-3349-3502)

【会社概要】

社名 : 株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス
設立 : 2007年4月2日
出資額 : 7.9億円(資本金4.95億円、資本準備金2.95億円) (株式会社損害保険ジャパン100%出資)
所在地 : 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル10F
電話番号 : 03-3349-4923
代表取締役 : 今井 達也
事業内容 : メンタルヘルス対策プログラムおよびメンタルヘルスケアの各種支援ツールの研究・開発
企業のメンタルヘルス対策に関する産業保健体制の支援
企業のメンタルヘルス対策に関連した制度構築等に対するコンサルティング業務